



小城市立歴史資料館 ✿ 中林梧竹記念館だより

小城の歴史講座を開催しました

11月6日(土)に牛津赤れんが館で、小城郷土史研究会の川副正文^{かわそえまさひみ}さんを講師にお招きして、小城の歴史講座を開催しました。

参加者は「九州探題 今川了俊^{いまがわりよしゆん}」についての講話を熱心に聞かれています。



▲講座の様子

令和3年度第4期 小城市立歴史資料館常設展示テーマ展「ねがいのかたち」開催中

小城鍋島3代藩主鍋島元武^{もとたけ}の病気に関わる古文書や太平洋戦争出征時の千人針、日の丸寄せ書きなど人々のさまざまな願いがうかがえる資料を展示し、病気^{かいか}快癒や無事帰還を願う思いを紹介します。

◆会場 歴史資料館 常設展示室

◆期間 ~令和4年2月27日(日)

◆入館料 無料



▲展示風景

おぎの歴史 ✿ 探検隊

小城市内の古墳を訪ねて〈その3〉 小城市史跡 一本松古墳群(小城町一本松)

最後に訪ねる古墳は、小城町一本松にある一本松古墳群です。天山山系の山麓から延びた尾根上、標高約110~115mのところにあります。かつては70基を超える古墳があったようですが、現在は10数基が確認されます。複数の古墳からなるものを古墳群と言います。

昭和44、45(1969、1970)年に9基の発掘調査が行われました。古墳は直径8~14mの小規模な円墳で、内部は横穴式石室が確認されました。

石室内から副葬品として武具、武器、馬具、装身具、須恵器、土師器などが出土しました。馬具には金銅製の豪華なものがありました。一本松古墳群は石室の形や副葬品から、5世紀後半から7世紀前半にかけての長い期間に営まれています。

前回、前々回で紹介した茶笥塚古墳^{ちやせんづか}や円山古墳^{まるやま}の

被葬者とは異なり、古墳を作る階層が広がってきたことを示しています。

一本松古墳群の出土遺物は歴史資料館に展示しています。

駆け足で、小城の代表的な古墳を紹介してきました。ぜひ、現地を訪ねて小城の歴史や文化に触れてみてください。想像が膨らみますよ。(終)

小城郷土史研究会/著



▲小城市史跡 一本松古墳群 (小城町一本松)

❖開館時間 9時~17時 ❖休館日 毎週月曜日・祝日・12月29日(水)~令和4年1月4日(火)・11日(火)
【問合せ・申込み】歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132

小城市ホームページから